

下呂温泉合掌村 開村50周年



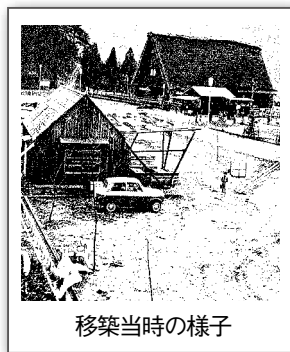
多くの市民の皆さんが訪れたことのある、市の主要観光施設「下呂温泉合掌村」は、開村から50周年を迎え、お祝いの式典や記念行事が催されました。

【観光商工部・観光施設】

先人らの努力のたまもの

下呂温泉合掌村は、昭和37年に白川村の御母衣ダム工事に伴い、合掌造りの家屋である「旧大戸家住宅（国指定重文）」を移築し、翌38年から飛騨郷土館としてスタートしました。

ダム工事で湖底に沈んでゆく運命にあった貴重な文化遺産は、多くの先人らの努力によって移築されました。



移築当時の様子

開村から50年という歴史の中では、一人で100体もの人形を操り人気を博した「竹原文楽」や、ヘビやワニなどを見ることのできた「爬虫類の森」など、数多くの展示・体験施設がありました。

現在の合掌村は10棟の合掌家屋により集落を再現し、飛騨地方の生活文化を体験でき

る貴重な観光施設として、累計入場者数は1100万人、年間16万人もの来場者があります。

50周年記念式典

9月22日、現在に至るまでの合掌村を支えていただいた関係者や来賓が出席し、盛大に50周年を祝いました。

式典会場の旧大戸家住宅では、野村市長をはじめ、同施設の発展に寄与された個人・団体のほか、同住宅が生家でもある平沢勝栄衆院議員ら約60人が参列しました。



感謝状を手に笑顔で並ぶ関係者

野村市長は、「先人のご努力のおかげで現在の合掌村がある。今後も三市一村協力して観光振興に努めたい」とあいさつ。合掌村の発展に寄与された5人の関係者に感謝状を贈りました。

式典後には、特別講師として平沢勝栄氏が「愛郷無限」と題した記念講演を行いました。

古き長き伝統と歴史を伝える合掌造り。

これからも、市民の皆さんや多くの観光客にご覧いただきたい「日本の宝」です。

下呂温泉合掌村
影絵昔話館しりあき座

下呂の昔話を

影絵劇で伝える

演 目▽「お美津ギツネ」

「しりあき伝説」と手影絵

入場料▽大人・小人（3歳

以上）とも300円（※別

に合掌村入場料が必要）

※水曜日休演

12月1日までの公演です。

小さな火から

大きな山火事へ

下呂市内の火災発生件数

年 (1月～12月)	件数	内 訳
22年	11	内、建物火災7件
23年	14	内、建物火災7件
24年	12	内、建物火災7件
25年 (9月末現在)	12	内、建物火災9件

◆上の表を見ると9月末現在にもかかわらず、25年は建物火災が最も多く、年末にかけての火災発生が心配されます。

「ウー！」と大きなサイレンが鳴り響き、火災発生を知らせる無線が市内全域にこだまする。それと同時に、市民の皆さんが緊張して、放送内容に耳を傾ける。こんな状況が今年は多いように感じられます。

空気が乾燥して火災が起こりやすい気象状況です。「わが家は絶対大丈夫」といった慢心がないように、今一度、**いのちを守る「3つの習慣・4つの対策」**についてご確認いただき、皆さんで火災予防に努めましょう。

【消防本部・予防課】

下呂市内火災原因ランキング

(上位5つ)

順位	原因
1位	ガスこんろ
2位	タバコ
3位	たき火
4位	ストーブ
5位	電気配線

◆ちょっとした不注意が原因で発生した火災が上位を占めています。3つの習慣を心掛けましょう。

いのちを守る「3つの習慣・4つの対策」

◆3つの習慣

- ・寝たばこは、絶対やめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



◆4つの対策

- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ・寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



平成25年度 防火ポスター
下呂市長賞・岐阜県消防協会長賞
加藤 桃果さん(金山中1年)

【巡回展示予定】

▽11月8日～25日・星雲会館▽11月25日～12月6日・下呂郵便局▽12月6日～16日・益田信用組合本店▽12月16日～27日・高山信用金庫下呂支店▽12月27日～1月6日・下呂ショッピングセンター▽1月6日～17日・金山振興事務所▽1月17日～30日・小坂振興事務所▽1月30日～2月12日・馬瀬振興事務所▽2月12日～24日・下呂交流会館

防火ポスターの市内巡回展示

下呂市防火管理者連絡協議会では、市内小中学校の児童・生徒から募集した「防火ポスター」のうち、入選作品8点を市内の各所で展示します。

秋季全国火災予防運動実施 (11月9日～15日)